

第68回扶桑町民体育祭

10月9日(月・体育の日)に扶桑町総合グラウンドで開催しました。子ども会リレーや地区別対抗種目など、各地域が丸となって優勝を目指す姿や、親子・仲間同士で協力し合って一生懸命にゴールを目指す姿が見られました。成績は以下のとおりです。

成績

地区別対抗むかで競争

優勝 平塚
準優勝 南定松
第3位 北新田

子ども会500mリレー

優勝 東川南
準優勝 柏森南
第3位 北新田

地区別対抗障害走リレー

優勝 柏森南
準優勝 東川西
第3位 北新田



ふそう町民まつり 2017

10月21日(土)、扶桑文化会館周辺において「ふそう町民まつり 2017」が盛大に行われました。当日はあいにくの天候にも関わらず大勢の方にご来場いただき、テーマに謳われた「～共に創ろう～」を感じられた1日となりました。



緑化木(温州みかん)配付 あたまの健康チェック おしゃべり街角屋台 ちびっこチャレンジ のど自慢大会 in ふそう 演奏会



サンマ BBQ 多くの来場者で賑わいました チーム演舞 みんなひとつになった総踊り



健康チェック だご汁 金魚すくい はいはい競争 スタンプラリー 北新田神楽ばやし

カローリング全国大会で扶桑Aチームが準優勝!

第24回カローリングカップ(9月17日開催)で準優勝した扶桑Aチーム(「わっと楽しくスポーツふそう」所属)の大野良恵さん、近藤順子さん、佐橋寿朗さんが町長に大会の結果を報告しました。同チームは、ねりんピック富山2018に愛知県代表として出場する予定です。皆さん日頃から、総合体育館で楽しく練習に励んでいます。



丹羽消防署

119番

調理中の火災に気を付けましょう!

ガスコンロが原因の火災は、年間3000件発生しています。そのほとんどが「調理中のうっかりミス」によるもので、なんと4人中3人がヒヤリとした経験があります。(東京都生活文化局調べ)

ガスコンロ使用中にその場を離れてしまった事例

・鍋に火をかけたまま外出。あわてて帰ったが鍋が真っ黒に。
(40代女性)



・揚げ物をしていて突然の来客に対応して火を消し忘れ、鍋の油に火がついた。
(60代男性)

ガスコンロの近くに燃えやすいものを置いてしまった事例

・コンロのそばに布巾を置き、焦げたにおいで気づいて、火を消した。
(50代女性)



・コンロの近くをキッチンペーパーで掃除をして火がついたが、水をかけて消火した。
(40代男性)

着衣に着火した事例

・コンロを使用中、コンロに背を向けていたら衣服に着火し、やけどを負った。
(50代男性)



・奥のコンロに火をかけた鍋の味見をしようとして袖に火がついた。
(70代女性)

こんなことでもヒヤリ!

・ざるをコンロの上のせて、誤って点火してしまい燃えた。
(40代男性)



・グリルでさんまを2度焼いた時に奥の排気口から炎が出た。
(60代女性)

ガスコンロは、ほとんどの家庭で毎日使用するものです。「毎日使っているからうちは大丈夫!」と過信せず、今一度見直しましょう!

平成30年度危険物安全週間推進標語の募集

毎年6月の第2週は危険物安全週間とされています。この行事を推進するため、危険物災害の防止と危険物の貯蔵・取扱いの安全を呼びかける標語を募集します。なお、最優秀作は危険物安全週間推進ポスターに活用する予定です。平成30年度のポスターモデルは、車いすテニスの国際大会で数々の優勝を飾っている上地結衣選手(エイベックス所属)を予定しています。

▼応募方法

郵便はがき又はWebによるものとします。

▼応募資格

どなたでも応募できます。

▼締切

12月11日(月)必着

▼賞

- ◎最優秀作 1点
消防庁長官賞と副賞20万円
- ◎優秀作 1点
全国危険物安全協会理事長賞と副賞10万円
- ◎優良作 10点
記念品

▼あて先

〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-9-16日本消防会館5階
(一財)全国危険物安全協会内
危険物安全週間推進協議会事務局

※詳しくは、(一財)全国危険物安全協会ホームページをご覧ください。

▼問い合わせ

丹羽広域事務組合 消防本部 消防課
☎(95)5158